



区長コラム ずっともっとめぐろ

目黒区長

青木英二

皆さん、こんにちは。区長の青木英二です。

本稿を執筆するにあたり、1年前の10月1日号の「ずっともっとめぐろ」を読み返してみました。昨年の本稿では、「人類史上最も暑い年」として世界的に記録ずくめだった夏について言及していましたが、今思い起こしてみても、世界各地から猛暑にまつわるたくさんのニュースが届いていた夏でした。

今年の夏も、やはり暑い夏でした。9月後半になりましても、東京都心で猛暑日を記録するなど残暑も大変厳しいものとなりました。なお、環境省・気象庁が提供している熱中症警戒アラートなどの情報発信は、今月23日まで運用されています。私も、まだまだ気を緩めることなく、暑さと熱中症への警戒を続けていきたいと思います。

さて、今号の特集は、「認知症を自分事として考えよう」です。記事にありますように、認知症について考える際、自分の認知症のことを気に掛ける「自分事」だけでなく、「家族や親しい人」の認知症に関わっていくことで「自分事」となるケースもあります。

認知症と向き合っていく上で、地域包括支援センターに配属され

ている認知症支援コーディネーターは、真摯にサポートしてくれる心強い存在です。少しでも気になることがあったり、確認したいことがあるかたは、早めにご相談ください。この特集が、今まで認知症のことを「人ごと」と思っていたようなかたにとって、新しい気づきになったり、実際に行動を起こすきっかけになるようでしたらうれしく思います。

最後に、この先もまだ暑い日があるかもしれません、季節は着実に進んでいます。「スポーツの秋」、「食欲の秋」、「読書の秋」、「芸術の秋」など、秋は楽しみの多い季節です。区では、秋ならではのイベントや講座などを数多くご用意しています。

今月13日には「第48回目黒区民まつり」が開催されます。「目黒のさんま祭」も待ち遠しいですし、友好都市である気仙沼市の皆さんとの再会も楽しみです。たくさんの模擬店やステージイベントのほか、金沢・角田・気仙沼の各友好都市の名産品が集まるふるさと物産展なども毎年人気です。また、「まだ、さんまバスに乗ったことがない」というかたは、会場への交通手段として、ぜひ一度、ご利用になってみてください。

催し物

知ろう・つながろう・楽しもう・一步踏み出そう！ めぐろ子育て交流ひろば0123



子育てに役立つヒントがいっぱい！

区内で活動している子育て団体・グループの講座や企画のほか、東京音楽大学有志によるミニコンサート、東京医療保健大学による心や体に関する講座など、知ることや楽しむことがたくさん詰まった企画を開催します。

タイムスケジュールなど詳細は、区Web（コード①）、またはチラシ（総合庁舎別館2階ほ・ねっとひろば、児童館などで配布）をご覧ください。



5年ぶりに総合庁舎で開催します。子育てに関するさまざまな講座から子育てのヒントを得て、子育て世代の皆さん同士のつながりをつくり、楽しむことができるイベントです。

イベントいろいろ

- 相談・ワークショップ
- 工作・体験コーナー
- 子育て講座
- 手遊び歌
- 絵本コーナー
- 企業ブース



▲離乳食講座(5年度)



▲ミニコンサート(5年度)

問子育て支援課利用者支援係（☎5722-9596、㈹3715-7604）

催し物

めぐろ歴史資料館秋の企画展



時10月5日(土)～11月17日(日)9:30～17:00。月曜日休館(10月14日、11月4日は開館し、翌日休館)

目黒の戦後

焼け野原から現在の都市に発展した戦後の目黒を、商店街を中心とした地域の変化、そして多様な学びを軸に振り返ります。



▲都立大学駅前の商店街

新発掘速報展

区内では、地中から日々新しい遺跡が発見され、土器などの遺物が見つかっています。近年の調査によって明らかとなった成果を紹介します。



▲縄文土器

企画展では、目黒の戦後、新発掘速報展の2つの展示を実施します。詳細は区Web（コード②）をご覧ください。

関連イベント

文化財講座「発掘された目黒～近年の調査成果から」

時11月9日(土)13:30～15:30

内近年の発掘成果の解説、土器に触る体験

定40人(抽選)

申区Web（コード③）、ハガキ・FAX(文化財講座と明記の上、住所、氏名(ふりがな)、年代、電話・FAX、あればEメールアドレスを記入)で、10月18日(必着)までに、生涯学習課文化財係(〒153-0061中目黒3-6-10、㈹3715-1325)へ



場問めぐろ歴史資料館

(中目黒3-6-10、☎3715-3571、㈹3715-1325)